

# 日本天文学会 2025年 春季年会プログラム

期 日 2025年3月17日(月)～3月20日(木・祝)  
 場 所 水戸市民会館／オンライン  
 電 話 090-4387-6893(学会事務局) <使用期間 2025年3月17日(月)～3月20日(木・祝)>  
 E-Mail nenkai-committee@asj.or.jp(年会実行委員会)

月日	会場	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19										
3月14日 (金)							記者会見															
3月16日 (日)		公開講演会																				
3月17日 (月)	A	受付	T. 銀河団	Q. 星間現象	N. 恒星・恒星進化	Y. 教育・広報・他	R. 銀河	P3. 惑星系	X. 銀河形成・進化	W. コンパクト天体	昼 休 み 12:40-14:00	T. 銀河団/U. 宇宙論	Q. 星間現象	N. 恒星・恒星進化	Y. 教育・広報・他	P1. 星形成	P3. 惑星系	X. 銀河形成・進化	W. コンパクト天体	ポスター 16:10   17:00	天文教育 フォーラム 17:00-18:30	理事会 19:00   20:30
	B																					
	C																					
	D																					
	E																					
	F																					
	G																					
	H																					
3月18日 (火)	A	受付	U. 宇宙論	Q. 星間現象	N. 恒星・恒星進化	V3. 観測機器(X線・γ線)	P1. 星形成	V2. 観測機器(光赤・重)	X. 銀河形成・進化	W. コンパクト天体	昼 休 み 11:40-13:00 (代議員総会)	M. 太陽	Q. 星間現象	N. 恒星・恒星進化	V3. 観測機器(X線・γ線)	P1. 星形成	V2. 観測機器(光赤・重)	X. 銀河形成・進化	W. コンパクト天体	ポスター 15:10   16:00	会員 全体集会 16:00-17:30	
	B																					
	C																					
	D																					
	E																					
	F																					
	G																					
	H																					
3月19日 (水)	A	受付	M. 太陽	V1. 観測機器(電波)	S. 活動銀河核	V3. 観測機器(X線・γ線)	P1. 星形成/P2. 原始惑星系円盤	V2. 観測機器(光赤・重)	X. 銀河形成・進化	W. コンパクト天体	昼 休 み 11:40-13:00	M. 太陽	V1. 観測機器(電波)	S. 活動銀河核	V3. 観測機器(X線・γ線)	P2. 原始惑星系円盤	V2. 観測機器(光赤・重)	X. 銀河形成・進化	W. コンパクト天体	ポスター 15:10   16:00	受賞 記念講演 16:00-17:30	懇親会 18:00-20:00
	B																					
	C																					
	D																					
	E																					
	F																					
	G																					
	H																					
3月20日 (木・祝)	A	受付	M. 太陽	V1. 観測機器(電波)	S. 活動銀河核	P2. 原始惑星系円盤	V2. 観測機器(光赤・重)	X. 銀河形成・進化	ジュニアセッション(詳細は <a href="https://www.asj.or.jp/jsession/">https://www.asj.or.jp/jsession/</a> にて)	昼 休 み 11:40-13:00	ポスター 13:00-14:00	特別セッション 14:00-16:00										
	B																					
	C																					
	D																					
	E																					
	F																					
	G																					
	H																					
		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19										

・現地の受付とセッションの開催時間は下記の通りです。

1日目 【受付】09:30 開始 【セッション】午前部 10:30-12:40 午後部 14:00-16:10  
 2～4日目 【受付】09:00 開始 【セッション】午前部 09:30-11:40 午後部 13:00-15:10

・定員が超過した場合は、予備室などからオンラインでご参加ください。

A 会場：3F-大会議室A	予 備 室：3F-小会議室 305～307
B 会場：3F-大会議室B	受 付：1F-エントランスロビー
C 会場：3F-大会議室C	展示コーナー：3F-ミーティングラウンジ
D 会場：3F-中会議室 301	ポスター：2F-展示室/オンライン公開
E 会場：3F-中会議室 303&304	
F 会場：4F-小ホール	
G 会場：4F-中ホール(ユードムホール)	
H 会場：1F/2F-大ホール(グロービスホール)	

### ◎講演数

講演数：合計 612

(口頭講演 (a)：508、ポスター講演 (b)：89、ポスター講演 (c)：15)

### ◎参加申込について (参加希望者は、必ず事前に参加申込をしてください)

2016年秋季年会より、通常セッションにおける講演は会員に限られております。

#### ○参加費用

	会 員	非 会 員
参加費	正会員学生:2,000円(不課税) 正会員一般:5,000円(不課税) 準会員:5,000円(不課税)	5,000円(消費税込み)
講演登録費	2,000円(不課税)(1講演につき)	-
	但し事前支払がない場合、会員 3,000円	
年会予稿集	2,000円(消費税込み) ※購入希望者のみ	

○参加申込受付場所：学会ホームページ (<https://www.asj.or.jp/>)

○参加申込受付期間：2025年2月6日(木)正午～3月20日(木)正午

※講演者の方も講演登録費支払期間に参加申込・参加費支払が必要です

※原則として講演登録費・参加費の返金はいたしません

### ◎講演に関する注意

1. 口頭発表は現地8会場で並行して行います。口頭講演(添字 a)は、口頭発表9分、質疑応答3分です。ポスター講演(添字 b)は、口頭発表3分、3講演で12分を割り当て、座長の判断で質疑応答を行います。

※時間厳守：講演制限時間を超過した場合は、直ちに降壇していただきますので、講演者の皆様は制限時間を厳守できるよう特に万全の準備をお願いします。

2. ポスター(添字 b、c)はオンライン上で公開します。ポスターは現地での掲示も行います。オンライン公開用にポスターファイルの提出をお願いいたします。提出の締切は3月14日(金)正午です。分野毎に Slack チャンネルをご用意しますので、質疑応答にご活用ください。
3. 口頭講演者(添字 a、b)は原則として現地会場で発表していただきますが、講演登録費支払の際に申請のあった方々についてはオンラインで発表していただきます。セッション開始5分前から座長が講演方法の説明をいたします。講演者をご参加ください。また、口頭講演は原則としてご自身の PC を用いて講演いただきます。万一のトラブルに備えて、PDF 形式の講演ファイルもご用意ください。講演方法に関する最新の情報は、ホームページで必ずご確認ください。
4. オンライン聴講者は、セッション開始時刻の5分前から Zoom にアクセスいただけます。また入室の際には、下記の命名規則に従って「参加者名」を設定してください。

参加種別	「参加者名」の命名規則	例
視聴者	「氏名」+「(所属)」	天文花子(天文大学)

5. 講演の実施方法の詳細は、学会ホームページに掲載いたします。事前に講演方法についてよく確認いただいた上で準備を進めていただくようお願いいたします。オンラインで参加される方は、Zoom の操作手順に関する理解を深めていただくようお願いいたします。
6. 受信画像や発表資料の保存(キャプチャを含む)、録音や配布は固くお断りします。

## ◎会期中の行事

月日	時間	会場	行事名
3月14日(金)	13:00～14:45	オンライン/ 茨城大学水戸駅南サテライト	記者会見
3月16日(日)	13:30～16:30	水戸市民会館 ユードムホール(中ホール)	公開講演会
3月17日(月)	17:00～18:30	G会場/オンライン	天文教育フォーラム
3月18日(火)	16:00～17:30	H会場/オンライン	会員全体集会
3月19日(水)	16:00～17:30	H会場/オンライン	受賞記念講演(林忠四郎賞・研究奨励賞)
3月20日(木)	14:00～16:00	G会場/オンライン	特別セッション みんなで天文学の未来を語ろう!(第2回)

## ◎会合一覧表

月日	時間	会場	会合名	参加可否*
3月17日(月)	12:50～13:50	B会場	理論天文学宇宙物理学懇談会報告会	C
3月17日(月)	19:00～20:30	オンライン	理事会	D
3月18日(火)	11:50～12:50	現地:関係者に個別連絡 /オンライン	代議員総会	D
3月18日(火)	11:50～12:50	B会場	NASA Habitable Worlds Observatory (HWO) と FIR-Probe PRIMA および日本主導 GREX-PLUS の現状紹介	A
3月18日(火)	11:50～12:50	D会場	「天文学と社会」連絡会(仮)設立準備会合	A
3月19日(水)	11:50～12:50	A会場	太陽研究者連絡会報告会	B
3月19日(水)	11:50～12:50	B会場	光学赤外線天文連絡会 総会	C

※年会参加者の参加可否の説明(オープン化の程度)

- A: 年会参加者なら誰でも大歓迎で是非来てほしい  
 B: 年会参加者で興味を持った人には広く門戸を開いている  
 C: 関係グループ向けの会合だが年会参加者なら特に拒みはしない  
 D: 関係者のみにクローズした会合で非公開である

## 正会員展示

## ◎「アルマーの冒険」で電波天文学の原理と歴史を自作しよう! -連載・25春-

日時: 2025年3月17日(月)～3月20日(木)

場所: 水戸市民会館 3F ミーティングラウンジ

概要: 電波天文広報まんが「アルマーの冒険」は、電波天文学の世界を紹介するアウトリーチコンテンツです。国立天文台の広報機関誌『国立天文台ニュース』誌上で2011年から掲載を開始し、2024年現在も継続中の連載記事です(これまでに11話分を掲載)。親しみやすいストーリーまんがを下敷きに、自作アンテナによるさまざまな天体の電波を実地に観測して(これまでのターゲットは太陽、流星、木星など)、電波天文学の原理を学びその歴史を追体験する構成で、天文台のみならず、全国の研究教育機関による最新の研究成果も逐次紹介しています。2023年秋の年会、2024年春の年会に続いて今回で3回目の出展。とくにジュニアセッションに参加する学生・生徒のみなさんに向けたプログラムで電波天文ワールドにご案内します。技術革新によって安価かつ平易に電波天文学の世界を実体験できるようになった「これから」を、アルマーといっしょに冒険してみませんか。ブースにてお待ちしております。

世話人: 高田裕行(国立天文台)、山岡均(国立天文台)、唐崎健嗣(合同会社プラネタリウムワークス)

## ◎天文教育フォーラム：「天文教育における STEM/STEAM とこれから」

日 時：2025年3月17日（月）17：00～18：30

場 所：G会場 / オンライン（オンライン参加は学会 HPから事前申込が必要。天文教育フォーラムのみ参加の場合、参加費は無料）

概 要： STEM/STEAM 教育という言葉が聞かれるようになって久しい。STEM は Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、Mathematics(数学)の頭文字を取り、これらの教育を横断的・総合的に進めていくもので、これに Art(s)(芸術、リベラルアーツ)を加えた STEAM 教育として各国に広がりつつある。本フォーラムでも 2016 年秋季年会にて「STEM/STEAM 教育と天文学」というテーマで取り上げたことがあったが、DX（デジタル・トランスフォーメーション）化や、生成 AI 技術の急速な発展など、社会情勢の変化を受けて、いま再び注目を集めるようになってきている。また、STEAM 教育は予測困難な変化の時代において「総合知」により課題解決できる人材育成をできる手段としても期待がされており、日本の学校教育の中でも、「総合的な探究の時間」や「理数探究」において導入が進んでいる。

天文学は、もとより科学や技術だけでなく、芸術や哲学なども扱うことができる総合的な分野であるが、よりその姿を明確にするため、今回の天文教育フォーラムでは招待講演者より STEAM 教育の現状、また天文学に関わる STEAM の実践例などを共有する。また、STEAM 教育の課題や今後の方向など、パネルディスカッションを通じ、その中で天文分野における可能性を探っていく。

プログラム：1. 話題提供

川越至桜氏（東京大学）、大谷忠氏（東京学芸大学）、中島さち子氏（株式会社 steAm）

2. パネルディスカッション

実行委員：日下部展彦、玉澤春史、高梨直紘、大朝由美子、ほか

主 催：公益社団法人 日本天文学会 / 一般社団法人 日本天文教育普及研究会

## ◎特別セッション：「みんなで天文学の未来を語ろう！（第2回）」

日 時：2025年3月20日（木）14：00～16：00

場 所：G会場 / オンライン

概 要： 2024 年に設置された「日本天文学白書委員会」はコミュニティ全体で日本の天文学の将来や関連する事項（技術・教育・広報普及・歴史など）について語り合い、「日本天文学白書」としてまとめるとともにコミュニティの交流を促進するための委員会です。2024 年秋季年会の特別セッションでキックオフイベントを開催し、趣旨説明や基調講演、パネルディスカッションを行いました。本年会では第 2 回のイベントを開催し、引き続き様々な分野・世代の方々に未来の展望や夢を語ってもらうとともに、パネルディスカッションで意見交換や交流を深めることを目指します。多くの方々のご参加をお待ちしています。

プログラム：1. 趣旨説明

2. 基調講演

3. パネルディスカッション

世 話 人：日本天文学白書委員会

赤堀卓也（国立天文台）、石川遼子（国立天文台）、岡本桜子（国立天文台）、鴈野重之（九州産業大学）、河原創（JAXA 宇宙科学研究所）、高橋慶太郎（熊本大学、委員長）、田中雅臣（東北大学）、富田賢吾（東北大学）、野田浩司（千葉大学）、野田博文（大阪大学）、米徳大輔（金沢大学）

## ◎日本天文学会公開講演会

日 時：2025年3月16日（日）13：30～16：30（開場 13:00）

形 式：対 面

場 所：水戸市民会館 ユードムホール（中ホール）

住所：〒310-0026 茨城県水戸市泉町1丁目7番1号

対 象：中学生以上・一般向け

テ ー マ：「宇宙の始まりから生命が集う星へ ～最新天文学と宇宙天気予報の挑戦～」

講師・タイトル：下記をご参照ください。

参加費：無料

定 員：482名（申込不要）

### <講演内容の紹介>

講演1：「アルマ望遠鏡とジェームズ・ウェッブ宇宙望遠鏡が明らかにした宇宙の始まりの銀河たち」

講師：橋本拓也（筑波大学 数理物理系・助教）

私たち人類は天の川銀河に住んでいますが、実はこの宇宙にはたくさんの銀河が存在していることが知られています。私たちは、南米チリにある電波干渉計アルマ望遠鏡や、欧米が2021年12月に宇宙へ打ち上げたジェームズ・ウェッブ宇宙望遠鏡などの最先端の巨大望遠鏡を駆使することで、はるか遠くすなわち過去の宇宙にあった銀河を調べています。これによって、銀河がいつ誕生し、どのように現在の姿になったのかを明らかにしようとしています。本講演では、最新の遠方宇宙像を紹介しつつ、さらに筑波大学が推進している南極天文学の計画についても触れます。

講演2：「第二の地球を探る ～将来観測から解き明かすその誕生と環境～」

講師：逢澤正嵩（茨城大学 基礎自然科学野・助教）

1995年に太陽とは異なる太陽型恒星の周りに惑星が発見されて以降、これまでに数多の太陽系外惑星が発見されていますが、「地球のように生命に満ちた惑星は太陽系外にもあるのか？」「地球のような惑星はどのように形成されるのか？」といった素朴な問いへの明確な答えは得られていません。本講演では、太陽系外惑星に関するこれまでの知見を紹介するとともに、将来の観測によって上述の問いに対して何がわかると期待されるかについて議論します。

講演3：「気象予報士が考える宇宙天気キャスターが活躍する未来」

講師：齊田季実治（株式会社ヒンメル・コンサルティング代表取締役、気象予報士）

宇宙天気とは、私たちの社会に影響を及ぼす宇宙環境の変化のことです。太陽の表面で大爆発が起こると、高速の太陽風や高エネルギー粒子が地球に降りそそぎ、人工衛星や通信・測位（GPS）、電力にも影響を及ぼすことがあります。文明が進化することで影響が大きくなってきました。2024年5月、日本の各地でオーロラが見られたことで宇宙天気に注目が集まり、ニュースやSNSで多く取り上げられました。現在はどのように報道されているのかを検証し、今後の伝え方について皆さんと一緒に考えたいと思います。

主 催：公益社団法人 日本天文学会

後 援：茨城大学

※最新のプログラムにつきましては学会ホームページ (<https://www.asj.or.jp/>) をご覧ください。

## 交通のご案内

### 主な交通手段と所要時間

#### //公共交通機関ご利用の方//

#### ●JR 水戸駅から

【路線バス】北口（4～7番のりば）から約5分～10分、「泉町一丁目」下車、徒歩1分。

【徒歩】約20分（JR 水戸駅改札口から約1500 m）。

【自転車】水戸駅北口のステーションから15分以内。

みとチャリ: <https://www.city.mito.lg.jp/site/sharecycle/>

#### ○JR水戸駅まで

##### ◎ JR 東京駅から

【特急】常磐線『ひたち』・『ときわ』約65分～85分。

【普通列車】常磐線 約130分～150分。

【高速バス】約110分～120分。

※赤塚ルートは、水戸駅北口の次に南口にも停車します。県庁ルートは南口のみ停車です。

##### ◎ JR いわき駅から

【特急】常磐線『ひたち』約70分。

【普通列車】常磐線 約100分。

##### ◎茨城空港から

【連絡バス】約40分～70分

##### ◎羽田空港から

【リムジンバス】約120分。

##### ◎成田空港から

【リムジンバス】約120分。

#### ●JR 東京駅から（直通）

【高速バス】『みと号』（赤塚ルート）: 約100分～110分、「泉町一丁目」下車: 徒歩1分。

時刻表: [http://www.ibako.co.jp/contents/files/sites/2/2024/04/20230901\\_mito\\_v2.pdf](http://www.ibako.co.jp/contents/files/sites/2/2024/04/20230901_mito_v2.pdf)

※ JR 東京駅からの下り路線のため、水戸市民会館前のバス停「泉町一丁目」は、

**JR水戸駅より2つ前**となります。

※ 県庁ルートは「泉町一丁目」を**通りません**。行き先をご確認の上お乗り下さい。

#### //お車をご利用の方//

#### ● E6 常磐道 水戸 IC から

【国道50号】約20分。

#### ●駐車場・駐輪場のご案内

近隣・周辺の駐車場をご利用下さい。

○周辺駐車場マップ: [https://www.mito-hall.jp/access/MitoriO\\_parkingmap.pdf](https://www.mito-hall.jp/access/MitoriO_parkingmap.pdf)

○敷地内に駐輪場（87台）

## 交通のご案内

### 会場周辺マップ



### 会場周辺情報

- 水戸市民会館HPのアクセスページ  
<https://www.mito-hall.jp/access/>

- MitoriO周辺グルメガイド  
<https://www.mito-hall.jp/guide/gourmet/index.html>

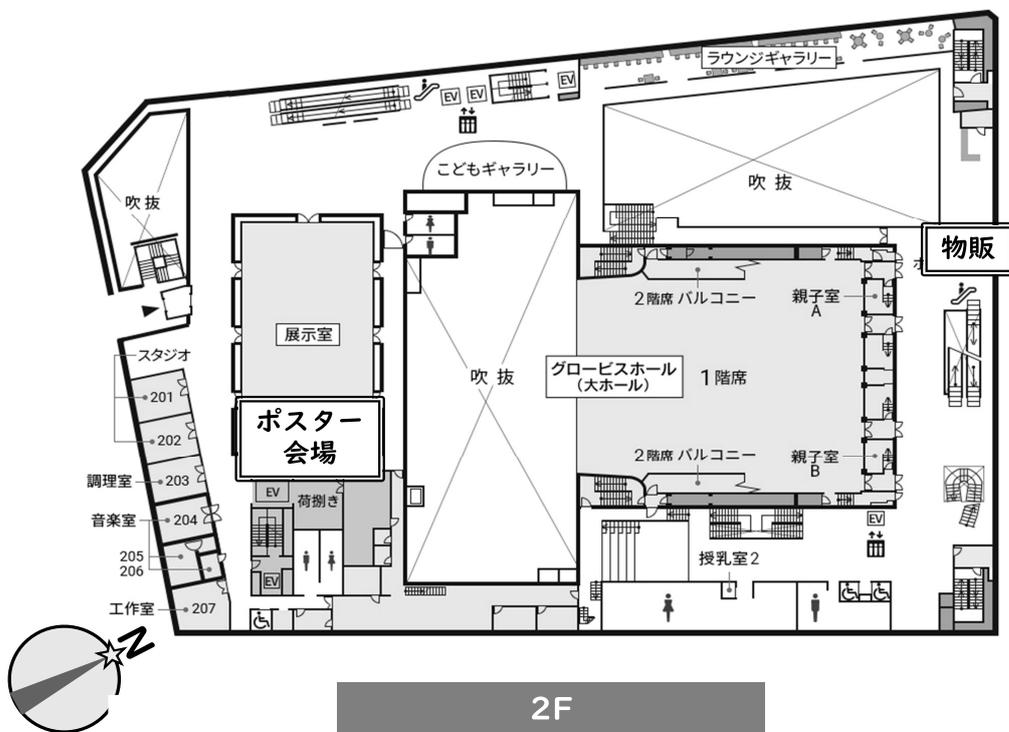
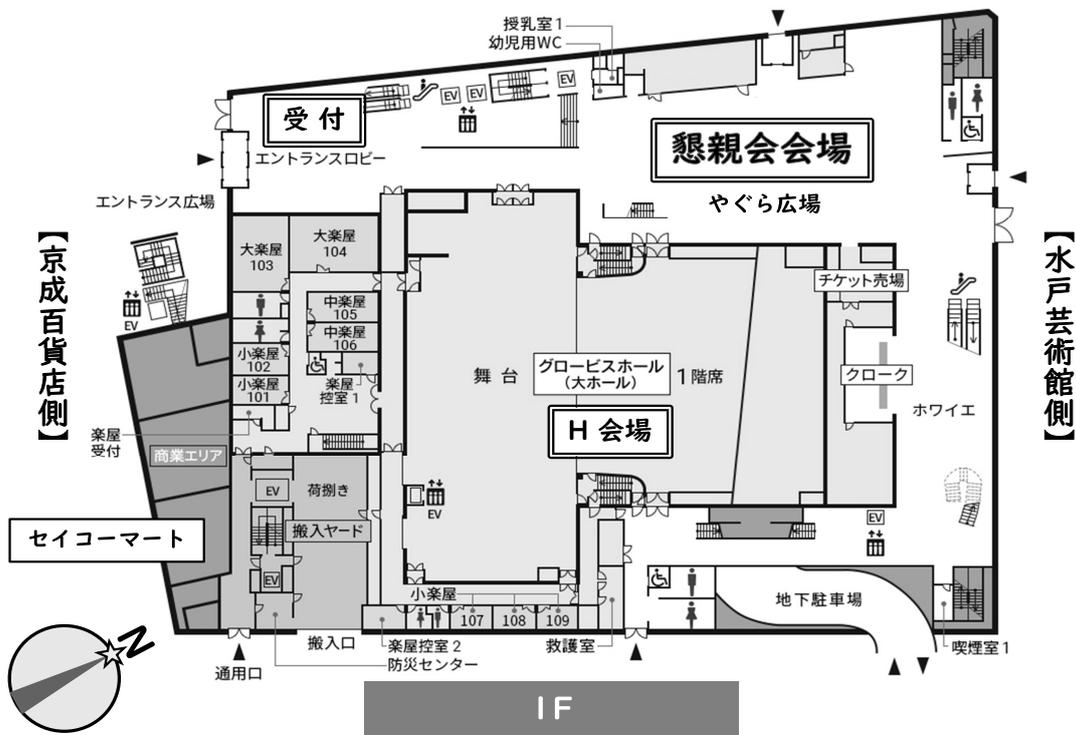
- 一般社団法人 水戸観光コンベンション協会 宿泊情報  
<https://mitokoumon.com/stay/>

※『第129回水戸の梅まつり』が2025年2月11日(火)～2025年3月20日(木)に開催されるため、混雑が予想されます。宿泊施設は早めにご予約をお願いいたします。

※交通のご案内、宿泊、会場周辺などに関しては、開催地HPにも情報を掲載しています。

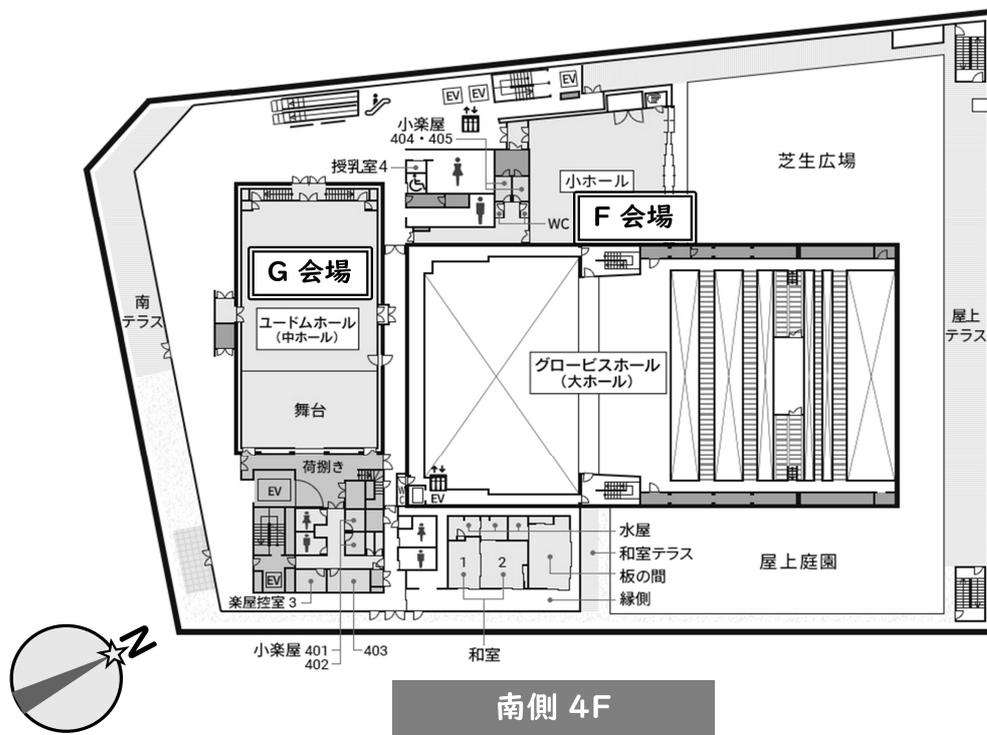
開催地HP URL: <https://sites.google.com/view/asj25mito0317-20/>

## 会場のご案内





## 会場のご案内



- ◎ 来場初日に 1F にて QR コード受付後、必ず参加証を受け取ってください。
- ◎ 会場混雑時は予備室などをご利用ください。
- ◎ 館内での飲食は、決められた場所をお願いいたします。
- ◎ 館内にゴミ箱はありません。各自で持ち帰るようお願いいたします。